

会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和元年度 第1回総合教育会議
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和元年10月1日(火) 14時00分～15時00分
開催場所		教育委員会室(本庁舎8階)
案件		豊島区教育ビジョン2019—豊島区教育振興基本計画(第Ⅱ期)—
公開の 可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高野区長・三田教育長・北川教育長職務代理者・白倉委員・藤原委員・樋口委員
	事務局	政策経営部長・子ども家庭部長・教育部長・企画課長・保育課長・保育政策担当課長・庶務課長・学務課長・放課後対策課長・学校施設課長・指導課長・教育センター所長・統括指導主事・企画課企画調整グループ・庶務課庶務グループ、教育政策担当

○企画課長

これより令和元年度第1回豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。

本日の傍聴者は0名です。

はじめに、本年度第1回目の会議ですので、総合教育会議の委員並びに事務局職員をご紹介します。

<委員及び事務局職員を順次紹介>

○企画課長

それでは、議事進行につきましては、会長の高野区長よりお願いいたします。

○高野区長

今日は10月1日です。1か月後の11月1日にはHareza池袋がオープンし、豊島区が大きく生まれ変わる日と位置付けています。新ホールについては、東京建物株式会社がネーミングライツを取得しています（東京建物 BrilliaHall）。

本日は、豊島区功労者表彰式をこのお祝いにふさわしいステージとして、新ホールを会場としたところであります。現在、豊島区においては23のプロジェクトが同時に動いています。豊島区がこれほどまでに変わるということを伝え、情報共有する機会となりました。一つひとつを価値あるものに、大きく変わる時期が来たということであり、職員とともに、区民の皆さんも一緒に街を作り上げていく。この勢いをぜひ見ていただきたいと思います。今日は1,000名以上の方に区民センターもご覧いただき、区の移り変わりを見ていただいたところです。保健所についても、完成して20年ですが、思い切って売却し移転を予定しています。その裏にはキッズパークを作り、子どもたちが夢と未来を体験していただけるようにしていきたいと思っています。

本日は、令和元年度第1回の総合教育会議ですが、総合教育会議は区長部局と教育委員会が教育施策に関して協議・調整をする場として、豊島区が「教育としま」と大変素晴らしい成果を上げて、目指している理想的な街づくりを進めているところです。

総合教育会議の役割の一つに、地方公共団体の教育に関する総合的な施策を定めた「教育大綱」の策定がございます。本区では、平成27年度第2回総合教育会議において「豊島区教育ビジョン」を「教育大綱」に位置づけることを決定いたしました。今回、教育委員会において教育ビジョンを改正したとのことです。

これまでも様々な議論を交わしてきましたが、次世代を担う子どもたちが、変化の激しい21世紀をたくましく生き抜くことができるよう、区長部局と教育委員会がこれまで以上に連携し、教育施策の充実を図っていくことが大切ではないかと思っております。

来年の今頃、23のプロジェクトはすべて完成する予定です。豊島区は日々変わってまいります。ぜひこのチャンスを活かしていただきたいと思います。教育と福祉は区行政の基本ですので、これをしっかり支えていけるように取り組んでまいりたいと思います。

それでは、本日の議題であります「豊島区教育ビジョン 2019—豊島区教育振興基本計画

(第Ⅱ期)」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○庶務課長

それでは、ご説明を申し上げます。

まず、「豊島区教育ビジョン 2019—豊島区教育振興基本計画（第Ⅱ期）」が完成しましたことをご報告します。概要版についてご説明いたします。

(概要版説明)

○学務課長

次に、認定こども園化の検討についてご説明します。

(概要版説明<これからの幼児教育のあり方 認定こども園化の検討>)

○学校施設課長

次に、学校施設の長寿命化計画と今後の改築のあり方についてご説明します。

(概要版説明<学校施設の長寿命化計画と今後の改築のあり方について>)

○庶務課長

次に、計画の推進に向けてです。

(概要版説明<計画の推進に向けて>)

以上、「豊島区教育ビジョン 2019—豊島区教育振興基本計画（第Ⅱ期）」の説明をいたしました。

「豊島区教育ビジョン 2019」の重点事業などについては、令和2年度の予算決定後、改めて第2回の総合教育会議の場所をお借りし、教育としま教育大綱を決定いたしたいと考えております。

資料の説明につきましては、以上でございます。

○高野区長

それでは、教育委員の皆様よりご意見をいただきたいと思っております。まず、北川教育長職務代理人、よろしくをお願いいたします。

○北川教育長職務代理人

まずは、区長お忙しい中、このようなお時間をとっていただきありがとうございます。午前中の区功労者の授与に参加いたしまして、多くの方が教育に限らず長年にわたりご尽力

いただいているからこそ、豊島区が発展し、これから豊島区で育ちゆく子どもたちのために我々がどういう形で教育をしていくかという、しっかりとしたビジョンを示さなければいけないと改めて実感しました。

今回、1年早く改正を行った理由については、国の動向に合わせ、いじめの問題なら子どもの命に直結することであり、家庭の姿に応じた施策、例えば放課後対策等の施策などを一元的に行う必要があったため、1年早く教育ビジョンを決定するため動き出したものです。

「教育ビジョン 2019」では、7つの基本方針、128の事業を策定したということですが、「教育ビジョン 2015」と比較し、その取組が必要とする根拠・データとして、保護者アンケートや教員アンケートなどが多く示されていることが、今回の改正の大きな特徴となっています。「教育ビジョン 2015」では、区長部局との連携をとり上げていましたが、「教育ビジョン 2019」では、子どもの教育を取り巻くネットワークということで、特に地域の方々との連携を大きく取り上げています。子どもたちがいろいろな知識を学んだあと、将来どのように活かしていくのかとした教育の形をつくっていかなければ、絵に描いた餅で終わってしまい、もったいないことです。これからの子どもたちを育てていくうえで、施設整備についても大変重要であると実感したことがあります。体育館への冷暖房導入後、9月に2学期が始まって、暑い日の体育館において、子どもたちの集中力の長さが一学期の明らかな違いが見られました。この環境で子どもたちがこんなに変わるのかを実感できた。こうした環境整備も大事ですし、人間としてのこころの教育の在り方についても、道徳教育という面からも非常に重きを置いている内容となっていると思います。

基本方針2・3・4の「子供の「知」「徳」「体」を育む」については、基本中の基本になっていると思いますが、それ以外の部分でも、非常に内容が濃く、厚く増えていることが、今回の教育ビジョン改正の特徴となっていると思います。

○高野区長

ありがとうございます。それでは白倉委員お願いいたします。

○白倉委員

皆様のご尽力のもと、「豊島区教育ビジョン 2019」ができあがりました。ありがとうございます。アクションプランで地道に施策を残していくことが大事だと思います。

現在も成果が上がっている、がん教育や歯と口腔の健康づくり、インターナショナルセーフスクール活動の全校化などの重点事業については、継続して発展・充実していくことが重要であると考えています。

今回、NO.94の重点施策である本区独自の課題である学校改修、すなわち豊島区型スーパーリニューアルについて述べたいと思います。今年2月の豊島区学校施設の在り方検討委員会の報告では、現在、築40年以上の幼稚園3園、小学校3校。築後50年以上の小中学校は16校、合計22校ある。今までのペースでの改築であると50年以上かかるとのことでした。豊島型スーパーリニューアルを行うことで、工費短縮、経費縮減をしながら、改築校と同等の環境が整うとのことです。今後、構造自体の安全性判断を製作会社に検査依頼し、数

値化して22個の改築・改修対象を決定し、計画を立てていくことが予定されています。8月に落成式が行われた巣鴨北中のような立派な学校ができることを、保護者や地域の皆様は首を長くして、待ちわびています。計画実行については、財政の裏付けなど様々な課題があると思いますが、ぜひ早々に実行していただきたいと思います。

先ほどの区功労者の表彰式でありましたように、持続可能な豊島区の発展を願っております。

○高野区長

ありがとうございました。次に、藤原委員お願いいたします。

○藤原委員

「消滅可能性都市」については、豊島区はすでに返上していると思います。ここ2年間、待機児童ゼロということとで、区ホームページを見てみると、保育園の空き状況についてまだ受け入れ可能というような状況となってきています。これは、区長が働く女性のみならず、子育てしやすい街づくりに取り組んできた結果であるといえます。

区立幼稚園の認定こども園化による幼児教育推進は、将来への先行投資として大変重要です。将来的に豊島区で税金を納めることができる大人に育つかどうかは、幼児教育にかかっています。そうした中で区立幼稚園の現状は定員割れとなっている。今は減っていている。働いている保護者は保育園に預けて、預けられない保護者は幼稚園に預けている状況ですが、幼稚園に預けている保護者も、3年間の幼児教育を希望しています。2年間保育では保護者は安心して幼稚園に預けられない。また、保育園に預けている保護者にも、幼児教育を受けさせたいという思いもあります。子供には質の良い教育的環境が大切です。その実現のためにも、将来的に認定こども園化を進めていくことが重要です。幸せになるには、良い幼児教育を受ける必要があるという研究結果も出ており、温かく受け入れてもらった子どもは成長します。子どもを全人的に育てていく認定こども園化については、区内の保育園と一体となり進めることが大切だと思います。

○高野区長

ありがとうございます。それでは樋口委員お願いいたします。

○樋口委員

冒頭、区長のお話の中で、区の大きな変革期であるという話がありました。その変革期に軌を一にして、区長部局と一体となり、教育ビジョンが新たに策定されたことは大変良いことです。庶務課長からの説明資料からも、豊島区全体で取り組んでいることが良く分かりました。教育委員会におかれては、事務局が結集して新しいビジョンに尽力されたことに対し感謝申し上げます。心血を注いいただきましたおかげで、項立ても大変わかりやすくなっていると思います。これからの時代に、区長部局と教育委員会の連携は大変頼もしい状況です。私からは、3点ほど述べさせていただきたいと思います。

1点目は情報化への対応です。全小中学校において ICT 機器の整備を推進していただいておりますが、将来的には子ども 1 人 1 台の配置をお願いしたいと思います。情報モラルについても考えながら、取捨選択し、生きる力へと結びつくのではないかと考えております。

2点目はいじめ問題への対応です。万が一の重篤な事象が起きた場合、区長を筆頭として速やかな対応ができる体制が作られました。いじめ問題の解決は豊島区でさらに進むのではないかと期待しています。

3点目は教員の指導力についてです。これは今に始まったことではなく、これからも続けていきたい課題です。このたび働き方改革を進め、教員が子どもと向き合う時間と空間を取れるような取組みを進めていただいております。長期休業中、学校が一斉に休業することで、先生自身もゆっくり精神的なゆとりが生まれたと喜んでいました。幼稚園でも同様に進めていただけたらと思います。

○高野区長

区長部局として、部課長からひと言お願いします。

政策経営部長お願いします。

○政策経営部長

教育ビジョンに沿って力を入れていきたいと思っております。

他区についてもそれほど詳しいわけではありませんが、これほど、教育部局と区長部局が連携しているところを知りません。

これからも様々な視点を踏まえて、前に進んでまいりたいと思っております。

○高野区長

子ども家庭部長お願いします。

○子ども家庭部長

子ども家庭部局としても、保育園も待機時の問題とあわせこれから無償化が始まります。今後、認定こども園化に向けて、教育委員会と共に、力一杯、進んでまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

○高野区長

保育課長おねがいします。

○保育課長

新しい教育ビジョンにおいて、基本方針は7つとも重要ではありますが、就学前教育の充実を謳っていただき、私どもにとっても大変心強いです。

これからも教育委員会とともに、さらに連携してまいりたいと思っております。

○高野区長

保育政策担当課長お願いします。

○保育政策担当課長

認定こども園化について、昨年まで保育現場で働いていた課長が教育部にいらっしゃるということで、大変心強いです。

できるだけ早く今プランが進むよう進めていきたい。

○高野区長

最後に、三田教育長から、これまでのご議論を踏まえまして、何かご意見等ございましたらお願いします。

○三田教育長

皆様どうもありがとうございました。

第1点目ですが、本日ご覧いただきました教育ビジョンについては、パブリックコメントにかけ、多くのご意見をいただきました。生涯学習と方向性を取りながら学校教育をとということで作ったものです。また教育委員の皆様からも、製作過程で厳しく多くのご意見をちょうだいして、練りに練って作り上げました。この後、教育振興基本計画として位置付けていただきたいと思っています。

2点目ですが、今回の教育ビジョンについて、幼児教育の在り方については、無償化となったことで大転換のタイミングとなっています。幼児教育の重要性はこれまで何度も受け止めて進めていくということではありますが、このタイミングで動かなくては後れを取ってしまうと感じております。どこに、どのタイミングで、何を行うかが重要であり、そうした点で区長部局と連携協力してまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

また、大きく長期にわたって検討していかななくてはならないことは、学校の改築についてです。改築のあり方について、国において長寿命化について言及していることから、これを具体化する方向で、機を得て実施していかなければならない。区長部局から助言・指導を受けながら、立地条件に応じ、合意形成なども含めて、慎重に進めていきたいと思っています。

他にも、隣接校選択性など、これまで継承してきた重要な課題については、今後も総合教育会議や事務局において、学校や地域ともしっかり連携して、いち早く学校や地域にお知らせして、議会にも報告しながら合意形成しながら具体化していきたいと思っています。

○高野区長

これまでのご発言等を受け、ご意見や補足等がある方はいらっしゃいますでしょうか？

教育長よりまとめていただきましたが、各委員の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

豊島区は荒波の大海のど真ん中にあるところです。

特に「東アジア文化都市 2019 豊島」について、書道教室の子どもたち 30 人ほどと一緒に

唐詩百メートル長巻のイベントがあり、中国の西安市で交流してきたところです。それぞれの開催都市は、多くの子どもたちを必ず参加していただいています。

最後になりますが、「東アジア文化都市 2019 豊島」が 11 月 24 日にフィナーレを迎えます。国際アート・カルチャー都市として、豊島区から全世界にとしまの文化を発信するため、「オールとしま」で様々なイベントを開催し、多くの人々に感動を与えてきました。期間中、多くの子供たちも参加し、イベントに花を添えていただきました。11 月 24 日の閉幕式典は、新たにオープンした豊島区立芸術文化劇場で行われ、イメージソング「わたしは未来」を 1 万人で大合唱します。私も中国 4 回、韓国には 3 回行き、交流してきました。その中で、将来を担う子どもたちが主役であり、何か次世代に残していきたいと思いました。こういう挑戦をして、このような変化が生まれていることを伝えていきたいです。まさか豊島区が、厳しい審査を通過し、東アジア文化都市の開催地に文化庁から選ばれるとは思ってもありませんでした。教育委員会の皆さんにも、ぜひ注目していただきたいのですが、「東アジア文化都市 2019」は、豊島区の大きな歴史の一つと言えるということです。いよいよ総仕上げの時期となってきております。

アニメーションは、世界の文化の主流となっています。そのアニメの大会を 11 月 1 日の Hareza のオープニングにあわせ開催、11 月 2～4 日には企業と連携し、アニメイベント「池袋アニメタウンフェスティバル」が実施され、中国や韓国からもご参加いただきます。

東京オリンピック・パラリンピックの前に、23 のすべてのプロジェクトが完成予定です。今回、55 年ぶりの東京オリンピック・パラリンピックを控え、外国からのお客様にも来てもらい、世界から注目される都市として、文化の発見強化をしている自治体としてみてもらいたいと思います。これが国際アート・カルチャー都市でもあるからです。東京の中の豊島区が際立った挑戦をしながら文化の祭典を行い、100 年に一度の大改造を行っております。

子どもたちがどう考え、将来どのような街にしていくのか。これからも待機児童ゼロを継続して目指していきたいと思います。さらに高齢者対策も進め、社会的孤立をゼロにしたいと思います。そして現場で汗をかかされている民生・児童委員は現在不足している状況です。こちらを充足できるような取り組みを進めていく。こうした取り組みを重点的に進めてまいりたいと思います。引き続き少子高齢化に対応していきたいと思いますので、より一層、教育委員会と連携していきたいと思います。

本日の議論を踏まえ、新たに策定された教育ビジョンが、時代の要請に応え、教育の質のさらなる向上に向けて、本区における教育の将来像と教育施策のあり方を示す道標であるということが確認できました。

「豊島区教育ビジョン 2019-豊島区教育振興計画（第Ⅱ期）-」を、豊島区教育大綱として位置づけ、重要な指針として今後の施策の展開に反映させてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

（異議なしの声あり。一同了承。）

新ビジョンの目標でもあります、「過去に学び、現在を生き抜き、夢と志を持って歩むと

しまの子」の育成に向けて、今後も区長部局と教育委員会が緊密な連携を図りながら頑張っ
てまいりたいと思います。引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

○企画課長

以上をもちまして、令和元年度第1回豊島区総合教育会議を終了いたします。本日はあり
がとうございました。